



凛として原点に

2013～2014年度
和歌山東ロータリーのテーマ

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013～2014年度
国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ

URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2014年5月15日(木)
週報 / VOL.55 No.42
(通巻2635)

ニコニコ箱

ありがとうございました

内畑 瑛造さん	中野社長、卓話たのしみにしています。	山本 進三さん	中野社長、本日は卓話よろしくお願ひします。
内畑 瑛造さん	妻の誕生日に大きなアジサイを有難うございました。	山本 進三さん	わかやま塾、入塾させていただきます。
八幡 建二さん	中野さん、本日の卓話楽しみにしています。	笹島 良雄さん	創立55周年行事が無事終わりました。
八幡 建二さん	中野さん、本日の卓話楽しみにしています。	笹島 良雄さん	皆様の御協力心から感謝申し上げます。
松田 洪毅さん	ご無沙汰しております。	山野 武彦さん	中野さん楽しい話を期待しています。
松田 洪毅さん	冬眠からさめて出て来ました。	岸裏 廣澄さん	中野様、卓話楽しみにしています。
松田 洪毅さん	これからはもう少し真面目に例会出席させていただきます。	瀧川 嘉彦さん	中野様、本日卓話よろしくお願ひします。
松田 洪毅さん	よろしくお願ひします。	吉田 篤生さん	中野さん、卓話楽しみです。
松田 洪毅さん	4月に紫陽花の綺麗なお花が届きました。家内が喜んでおりました。	村田 昌之さん	中野幸生会員の卓話に感謝して。
松田 洪毅さん	感謝します。	上中 崇司さん	中野さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
中野 幸生さん	今日、卓話させていただきます。	上中 崇司さん	中野さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
中野 幸生さん	テーマは、起業家精神を養い育てる「わかやま塾」です。	佐藤 義記さん	中野様、本日卓話宜しくお願ひします。
		阪神タイガース応援団一同	

本日の累計 49,000円(計13名 16件) (誕生日献金 407,000円 皆出席表彰 55,000円 その他 1,810,982円 累計額 2,272,982円)

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R. C.	5月15日(木)	I. D. M. 発表④
和歌山南R. C.	5月16日(金)	例会変更
和歌山中R. C.	5月16日(金)	フリートーキング
和歌山北R. C.	5月19日(月)	卓話 「プロバスケットボール「和歌山トライアズ」について」 和歌山トライアズ樹代表取締役 古川 靖章さん
和歌山アゼリアR. C.	5月19日(月)	クラブフォーラム 「入会3年未満会員～入会して思う事～」
和歌山R. C.	5月20日(火)	卓話 「アマチュア野球について」 特定非営利法人箕島球友会副理事長 西川 忠宏さん
和歌山西R. C.	5月21日(水)	例会変更
和歌山東南R. C.	5月21日(水)	I. D. M. 発表④

本日の例会	5月15日(木)	次回の例会	5月22日(木)
●卓話「知っておきたい相続税対策」 刀根税務会計事務所 所長 刀根 真大さん		●「ロータリーソング指導」 全日本ピアノ指導者協会会員 和歌山市楽しい歌声の会事務局員 吉田 陽子さん	
●皆出席表彰 吉田 篤生さん 1年皆出席通算6年		●卓話「起業家精神を養い育てる「わかやま塾」」 当クラブ会員 中野 幸生さん	
●ピアノ演奏 五月の歌(モーツァルト) 花の街(団伊玖磨)	中井 利枝さん	●ロータリーソング 「奉仕の理想」	岸裏 廣澄 ソング副委員長

出席報告		会員数 42名(内出席規定適用免除会員16名) 乾 敦雄 出席委員長	
5月 8日(本 日)	32名	86.5%	4月24日(メーキャップ後)
			30名
			88.2%
			(欠席4名)

皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨

●会長挨拶

村田 昌之 会長



5月の大型連休も終わり2013-2014年度も残すところが少なくなってまいりました。
 5月5日の子供の日の祝日に和歌山城公園で、和歌山市の主催により私達のロータリークラブの社会奉仕委員会が企画して和歌山公園に寄贈しました記念写真撮影設備の除幕式に行っていました。当クラブ会員の皆様をはじめ、和歌山市からも市長様、多数の関係者皆様のご参加があり和歌山東ロータリークラブを代表して挨拶をさせていただきました。
 あいにくの小雨模様の天気でしたが、わかやまフレンZOOガイドの子供達と序幕の紐を引いて感激しました。本当に良いものが出来上がりました。少しでも長く楽しく使って欲しいと思います。

●幹事報告

上中 崇司 幹事



R.I. 会長より、「2015-2016年度2640地区ガバナーは豊澤洋太郎氏に決定」した旨の文章が送られてきておりますので、回覧いたします。
 その他、次の文章等も回覧いたします。
 ・2014-2015年度のための地区研修・協議会の御礼状
 ・和歌山アゼリアR.C. から、I.M. 出席に対する御礼状
 ・JCニュース

●卓話「起業家精神を養い育てる「わかやま塾」」 わかやま塾塾頭(当クラブ会員) 中野 幸生さん



1. いま中小企業が一番憂うべきことは何か
 世界を見ると、起業意欲が旺盛のようですが、日本では「企業を興し社長になる」こんな面白い夢に挑むシニアは目立ちますが、若者は減り続けています。
 2012年の成人(18~64才)100人に対して、起業準備中の人と起業後3年半未満の人が合計何人いるかを表すのが総合起業活動指数と言うのだそうです。それが日本は最下位です。
 政府は起業数が会社数に占める「開業率」を、今の2倍に引き上げ、せめて英米並みにする目標を掲げていますが、私は今のままで新陳代謝を促さないと三流国になってしまいかねないと危惧しています。
 起業に一度失敗しても、再挑戦しやすい環境を整えることも重要ですが、若者に冒険心・面白味等の起業意欲を掻き立てる、啓発活動を推進することも重要だと思います。

2. 「わかやま塾」について
 わかやま塾は、将来、和歌山県を支え、世界へ羽ばたく人材を育成することが目的で、6月から2月までの毎月1回(年9回)第3金曜日の19時30分から和歌山市内で開催しています。
 塾生は、公募により決定した50歳未満の県内経営者や幹部、後継者等100名で、製造業、情報通信業、建設業、運輸業、小売業、医療、農業、公務員など様々な業種の方が参加されています。
 講師は、豊富な知見を有し、各界で活躍されている専門家や企業経営者であり、講義は「知識編」と「心掛け編」の2本立てで行っています。なお、知識編の講義テーマは、世界経済情勢、国の政治行政制度、地方行財政制度、金融制度、貿易・国際経済システム、税制、エネルギー、知的財産権、インフラについてであり、心掛け編の講義では、創業時の苦労話や成功事例を交えながら経営者としての心構えなどについてお話しいただいています。
 また、与えられた時間で自身の言いたいことをいか

に伝え、いかにアピールするかということも経営者として大切なことであることから、自己紹介も兼ねた塾生1分間スピーチを行うとともに、プレゼン技術についての講義も行いました。

講義終了後には、塾長、塾頭、師範、塾生が参加しての交流会(塾生全員)または知事放談会(塾生15名程度)を開催しており、懇談を通じて、お互いの知識と考えが深められています。

◎わかやま塾の塾長、塾頭、師範(敬称略、師範は講義順)

塾長	仁坂 吉伸	和歌山県知事
塾頭	中野 幸生	中野BC株式会社代表取締役社長
師範	小林 利典	近畿経済産業局長
	島 正博	株式会社島精機製作所代表取締役社長
	米澤 朋通	総務省自治行政局公務員部公務員課高齢対策室長
	野口 明美	株式会社営業会議代表取締役社長
	本田 悦朗	内閣官房参与、静岡県立大学国際関係学部・同大学院国際関係学研究科教授
	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ代表取締役社長&CEO
	勝本 僖一	アクロナイン株式会社代表取締役社長
	佐川 宣寿	大阪国税局長
	角谷 勝司	株式会社サンコー相談役
	澤 昭裕	21世紀政策研究所研究主幹、NPO法人国際環境経済研究所 所長
	青山 繁晴	株式会社独立総合研究所代表取締役社長・兼・首席研究員
	深野 弘行	前特許庁長官(現伊藤忠商事株式会社顧問)
	谷口 博昭	一般財団法人国土技術研究センター理事長、芝浦工業大学大学院MOT客員教授

3. 「啐啄同時(そったくどうじ)」とは

禅の言葉に「啐啄同時」という禅語があります。卵の中の雛鳥が殻を破ってまさに生れ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がコツコツとつつくことを「啐」といい、ちょうどその時、親鳥が外側から殻をコツコツとつつくことを「啄」といいます。

雛鳥が内側からつつく「啐」と親鳥が外側からつつく「啄」によって、殻が破れて中から元気な雛鳥が出てきます。

両方が一致して雛が生まれる「機を得て両者相応じる得難い好機」のことを「啐啄同時」といいます。

「わかやま塾」での仁坂塾長や師範と塾生の関係が正にそうだと思います。

4. いまほど中小企業を支援してくれる時はない

ベンチャー企業を起こしたい、またニュービジネスで第二創業を起こしたい、そのための「人・モノ・金・技術」等の支援体制ができています。

わかやま産業振興財団、和歌山県工業技術センターはあらゆる企業ニーズに対応しています。

国の「第三の矢」の成長戦略がもうすぐ出てきますし、経済産業省、農林水産省、その他からも支援政策が出てまいります。

県の条例も出来ています。

- ・和歌山県新産業技術創出推進条例(平成21年10月)
- ・和歌山県中小企業振興条例(平成25年12月)

産学官で、出る杭をのばさなければ、地域活性化は出来ません。自分が今置かれている場所で、やるべきことを一心にやるのが大切です。

元気を出し、やる気があればチャンスはいっぱいあると思います。

5. 和歌山県内で起業家をもっと輩出するために何が必要か。

- ①明日の経営者を育てるために、産官学が垣根をはずし、高い志と夢をもつ経営者のマインドに火をつけて、難しいことに挑戦する人、即ち「啐」を旺盛(活発)にすること。
- ②競い合い、切磋琢磨する中で、自分の周りに教えてもらえる人や相談できる人、即ち「啄」をたくさん作ること。
- ③チャールズ・チャップリンの言う、「少しばかりのお金」そして「イメージーション」最後に「勇気」。その最後の「勇気」を出して積極果敢に挑戦することを、若い人の心に伝えたい。

クラブ創立、55周年記念事業

社会奉仕委員長 笹島 良雄

動物園に記念撮影設備贈呈除幕式

「子どもの日」の5月5日(月)11時より同設備の披露除幕式が行われました。

若干、小雨ではありましたが、大橋建一市長始め、当クラブの多くの会員が出席して頂き、盛會に祝われました。贈呈した設備も大変好評で喜んで戴き、今後も多くの方々に活用してもらえらるものと確信します。又初めての、ロータリー財団補助金の活用効果等御努力と応援して戴いた関係の皆様方に厚く御礼を申し上げます。



大橋市長謝辞

東ロータリーからは50周年記念の時も、各小学校に書籍を賜り、重ねて有難く厚く御礼を申し上げます。



～ロータリー会員の願い～

子供達の明るい笑顔
子供達の心に夢と豊かさを
皆で思いやりの心を育もう



村田会長祝辞

ささやかですが、当ク除幕式写真ラブが子供達の情操教育に注力している一環です。訪れる子供達が笑い、明るく、育ってゆく事を祈っています。来年の和歌山国体にながしかの花を添えられる事を祈ります。

